

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2023年第25週  
(6月19日～6月25日)

- \* 2023年6月28日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「新型コロナウイルス感染症のパンデミックと外国出生者結核」も掲載しています。

令和5年(2023年)6月29日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2023年25週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		22週	23週	24週	25週	年累計	25週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	43	39	39	37	904	218	6,411
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ					1		1
	細菌性赤痢	1		1		4	1	15
	腸管出血性大腸菌感染症	13	16	20	13	123	96	947
	腸チフス				2	4	2	21
	パラチフス					1		6
四類	E型肝炎	5	1	5	2	102	13	295
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				5		26
	エキノкокクス症							5
	エムポックス	2	3	4	1	136	1	178
	黄熱							
	オウム病							5
	オムスク出血熱							
	回帰熱						3	8
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>						5	78
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							1
つつが虫病					4	2	99	
デング熱		3	1		12		33	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		22週	23週	24週	25週	年累計	25週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱		1			1	12	134
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア		1			4		7
	野兔病							
	ライム病		1			1	1	4
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	3		4	3	67	73	901
レプトスピラ症							4	
ロッキー山紅斑熱								

2023/6/28集計

(全数把握対象疾患のコメント:一類～五類)

〈二類感染症〉

**結核 37件** 患者 23件(肺結核 16件、その他の結核 6件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 14件、年齢は5歳未満 1件、10代 1件、20代 2件、30代 5件、40代 3件、50代 2件、60代 7件、70代 6件、80代 9件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 22件、不明 15件であった。

〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 13件** 患者 10件、無症状病原体保有者 3件、血清型・毒素型はO103 VT1 1件、O121 VT2 1件、O157 VT1・VT2 2件、O157 VT1 1件、O157 VT2 5件、O157 VT(型不明) 3件、年齢は5歳未満 1件、5～9歳 1件、20代 6件、30代 2件、40代 1件、60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 12件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 8件、不明 5件であった。

**腸チフス 2件** 患者 2件、年齢は20代 2件、推定感染地は国内 1件、バングラデシュ 1件、推定感染経路は接触感染 1件、経口感染又は接触感染 1件であった。

〈四類感染症〉

**E型肝炎 2件** 患者 2件、年齢は40代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 1件であった。

**エムボックス 1件** 年齢は30代、推定感染地は国内であった。

**レジオネラ症 3件** 病型は肺炎型 3件、年齢は50代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は塵埃感染 1件、不明 2件であった。

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 1件** 病型は腸管、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 4件** 病原菌は*Klebsiella aerogenes* 1件、*Klebsiella pneumoniae* 1件、*Serratia marcescens* 2件、年齢は60代 2件、70代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、不明 1件、推定感染経路は以前の保菌 1件、医療器具関連感染(人工呼吸器) 1件、手術部位感染 1件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴は渡航なし 4件であった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2023年25週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		22週	23週	24週	25週	年累計	25週	年累計
五 類 (全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	1	2	3	1	44	5	237
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)			2		27	2	125
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4		4	4	93	34	846
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1			1		5		26
	急性脳炎 *2				1	16	10	239
	クリプトスポリジウム症						1	4
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2	1		9	2	74
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	1	2		57	7	397
	後天性免疫不全症候群	8	11	5	2	144	9	453
	ジアルジア症					6		24
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	2	1	17	14	228
	侵襲性髄膜炎菌感染症		1			1		8
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	5	1	3	88	20	914
	水痘(入院例に限る)	3	5		1	38	5	185
	先天性風しん症候群							
	梅毒	88	89	64	79	1,810	218	7,124
	播種性クリプトコックス症				1	11	1	88
	破傷風				1	2	5	40
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					7	3	69
百日咳	2	3	12	7	58	30	402	
風しん	1		1		4		7	
麻しん			1		6*3	1	19	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					1	1	8	

2023/6/28集計

\*1 2018年5月1日より追加指定された。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

\*3 遺伝子検査陰性1例を含む。

**急性脳炎 1件** 病原体は不明、年齢は5～9歳、推定感染地はシンガポール、推定感染経路は不明であった。

**後天性免疫不全症候群 2件** AIDS 1件、無症候キャリア 1件、性別は男性 2件、AIDS患者の年齢は20代、無症候キャリアの年齢は20代、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は同性間性的接触 2件であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件** 血清型は未実施、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は4回接種済みであった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 3件** 血清型は未実施 3件、年齢は5歳未満 1件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は不明 3件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価3回接種済み 1件、接種なし 1件、不明 1件であった。

**水痘(入院例) 1件** 臨床診断例、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は不明であった。

**梅毒 79件** 患者 64件(早期顕症梅毒Ⅰ期 27件、早期顕症梅毒Ⅱ期 36件、晩期顕症梅毒 1件)、無症候梅毒 15件、性別は男性 54件、女性 25件、年齢は10代 4件、20代 30件、30代 11件、40代 13件、50代 16件、60代 3件、80代 2件、推定感染地は国内 73件、国外(詳細不明) 1件、不明 5件、推定感染経路は性的接触 75件(同性間 11件、異性間 55件、性別不明 9件)、不明 4件であった。

**播種性クリプトコックス症 1件** 年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

**破傷風 1件** 臨床診断例、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

**百日咳 7件** 年齢は5歳未満 1件、5～9歳 3件、10代 1件、20代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 5件、不明 2件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 4件、不明 3件であった。

※ 第24週該当分として〔四類〕レジオネラ症 1件、〔五類〕侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件、風しん 1件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2023年25週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2023年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		22週	23週	24週	25週		
小児科	RSウイルス感染症	364 1.39	448 1.72	604 2.32	700 2.69	260	264
	咽頭結膜熱	147 0.56	130 0.50	134 0.52	111 0.43		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	474 1.81	487 1.87	450 1.73	449 1.73		
	感染性胃腸炎	2,013 7.68	1,799 6.89	1,743 6.70	1,510 5.81		
	水痘	39 0.15	25 0.10	34 0.13	48 0.18		
	手足口病	102 0.39	170 0.65	191 0.73	188 0.72		
	伝染性紅斑	4 0.02	14 0.05	11 0.04	6 0.02		
	突発性発しん	110 0.42	76 0.29	83 0.32	57 0.22		
	ヘルパンギーナ	640 2.44	1,007 3.86	1,584 6.09	2,015 7.75		
	流行性耳下腺炎	25 0.10	32 0.12	16 0.06	20 0.08		
	川崎病 *1	3 0.01		3 0.01	3 0.01		
	不明発しん症 *1	22 0.08	16 0.06	31 0.12	18 0.07		
	インフル エンザ /COVID -19	インフルエンザ *2	706 1.69	701 1.69	550 1.33		
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)		2,207 5.29	2,486 5.99	2,421 5.85	2,577 6.22		
眼科	急性出血性結膜炎					38	39
	流行性角結膜炎	10 0.26	14 0.37	8 0.21	4 0.11		
基幹	細菌性髄膜炎 *3			1 0.04		25	25
	無菌性髄膜炎		1 0.04	1 0.04			
	マイコプラズマ肺炎	3 0.12	1 0.04				
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4						
	インフルエンザ入院	3 0.12	3 0.12	2 0.08	2 0.08		
2023/6/28集計							

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、警報レベルに達した先週よりも更に上昇し、7.75です。
- ・ RSウイルス感染症は増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2023年25週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	45			14		3			7		
6～11か月	114	10	1	89		16		18	111		
1歳	212	25	14	181		26	1	27	442	1	1
2歳	139	23	28	160	3	41		4	371	4	2
3歳	93	18	54	158	4	32	3	4	340	1	
4歳	49	11	64	186		24	1	3	301	1	
5歳	23	9	70	129	8	25	1		210	3	
6歳	6	6	56	118	5	9		1	112	2	
7歳	5	5	52	107	3	4			41	2	
8歳	4	1	33	81	4	6			26	3	
9歳	1		18	64	8	1			17		
10～14歳	6	2	37	117	10	1			24	3	
15～19歳	1		3	17	1				2		
20～29歳	2	1	19	89	2				11		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	700	111	449	1,510	48	188	6	57	2,015	20	3
先週比	96	-23	-1	-233	14	-3	-5	-26	431	4	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	新型コロナウイ ルス感染症 (COVID-19)	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月	1		7								
6～11か月	2	1	22								
1歳	5	9	37								
2歳	1	6	18								
3歳	2	8	13								
4歳	3	19	22								
5歳	1	23	12								
6歳		34	23								
7歳		49	18								2
8歳		30	17								
9歳	1	33	35								
10～14歳	1	81	258								
15～19歳		30	288								
20～29歳	1	17	387								
30～39歳		20	341		3						
40～49歳		33	354		1						
50～59歳		9	359								
60～69歳		6	182								
70～79歳		4	113								
80歳以上			71								
合計	18	412	2,577		4						2
先週比	-13	-138	156		-4	-1	-1				

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

## 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2023年25週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	6.33	0.33	0.67	6.00	0.33	0.33			0.33		
中央区	0.33		0.67	7.67		1.00		0.67	1.67		
みなと	3.17	0.17	1.33	1.50	0.67	1.33		0.17	4.67		0.17
新宿区	3.14	0.71	1.43	5.57		0.14	0.14		3.14		
文京	1.75	1.75	0.75	3.25					7.00	0.25	
台東	4.25	0.25	1.25	9.75		0.50			9.75	0.25	
墨田区	2.20	0.20	0.20	2.80		0.40			3.20		
江東区	2.89		1.78	5.00		1.11		0.33	3.78	0.22	
品川区	0.75	0.25	1.25	4.00		0.25		0.25	7.00		
目黒区	1.00	0.20	1.00	3.00				0.60	6.80		
大田区	6.00	0.92	2.31	7.46	0.08	1.08	0.08	0.15	10.15	0.15	
世田谷	2.81	0.13	1.88	5.81	0.50	0.50		0.13	8.38	0.13	
渋谷区	1.75	1.00	0.50	5.00	0.50	0.50		0.25	3.00		
中野区	1.17		4.67	7.50	0.17	0.33			11.33		
杉並	1.55	0.09	1.55	4.00	0.18	0.09		0.36	2.55		0.09
池袋	2.60	0.60	0.40	2.60		0.40			1.80		
北区	1.71		1.14	5.29	0.57	1.57	0.29	0.14	10.86	0.14	
荒川区	10.75	0.75	3.00	6.00				0.50	12.25	0.25	
板橋区	1.40	0.30	1.90	3.30	0.50	0.90	0.10	0.10	2.80		
練馬区	2.75	0.33	1.42	5.58	0.25	0.08	0.08	0.17	12.00		
足立	3.25	1.08	0.42	5.00		1.00		0.17	6.17		
葛飾区	1.50	0.13	0.63	8.38	0.13	0.38		0.25	3.88		
江戸川	2.33	0.42	0.83	7.08		0.50		0.17	6.25		
八王子市	3.36	1.09	3.00	12.18	0.09	1.64		0.64	17.18	0.09	
町田市	0.50		1.63	7.13	0.25	0.75		0.13	11.88	0.13	
西多摩	0.25		0.63	2.38		0.13		0.13	5.00	0.25	
南多摩	2.22	1.00	1.56	4.11	0.11	0.89		0.11	7.33	0.22	
多摩立川	3.14		3.57	4.36	0.07	1.21		0.14	6.50	0.21	
多摩府中	3.00	0.57	2.00	6.14	0.19	0.95		0.43	9.29		
多摩小平	3.36	0.50	3.07	10.07	0.50	1.29		0.29	15.43	0.07	0.07
島しょ	2.00	1.00	2.00								
東京都	2.69	0.43	1.73	5.81	0.18	0.72	0.02	0.22	7.75	0.08	0.01

	小児科	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		0.25	7.25								
中央区		3.40	5.20		1.00						
みなと		1.44	5.44								
新宿区	0.14	0.09	7.27								
文京		1.29	6.43								
台東	0.25	2.86	3.57								
墨田区	0.20	3.75	12.88								
江東区	0.11	0.79	5.00								
品川区		1.00	3.75								
目黒区		1.88	5.75								
大田区		1.71	5.90								
世田谷	0.06	1.28	6.68								1.00
渋谷区		0.14	4.86		1.00						
中野区		0.40	8.70								
杉並	0.09	0.35	6.59								
池袋		0.63	10.13								
北区	0.14	0.82	11.27								
荒川区		3.43	6.29								
板橋区	0.20	0.63	5.56								
練馬区	0.17	1.80	6.85		0.50						
足立		0.06	6.17								
葛飾区	0.13	1.54	3.46								
江戸川		0.58	6.95								
八王子市	0.09	0.61	5.72								
町田市	0.13	0.15	4.15								
西多摩		0.21	3.14								
南多摩		0.43	6.21								
多摩立川		0.29	5.67								
多摩府中	0.14	1.09	6.06		0.33						
多摩小平	0.07	1.09	5.86								
島しょ			18.00								
東京都	0.07	1.00	6.22		0.11						0.08



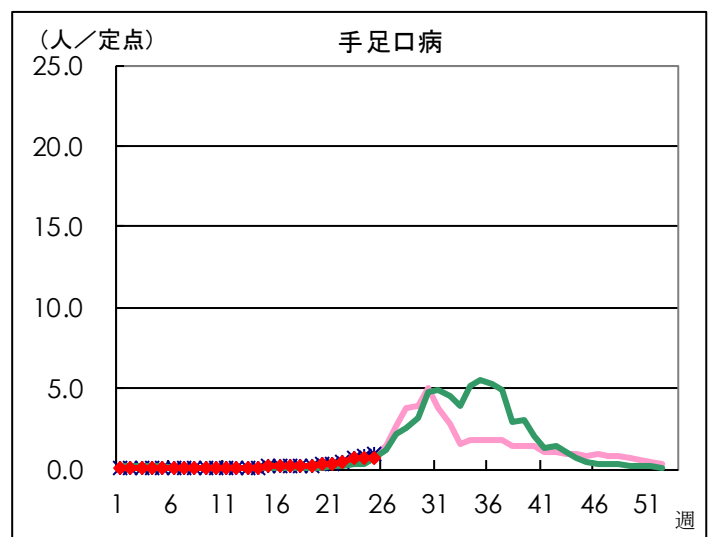
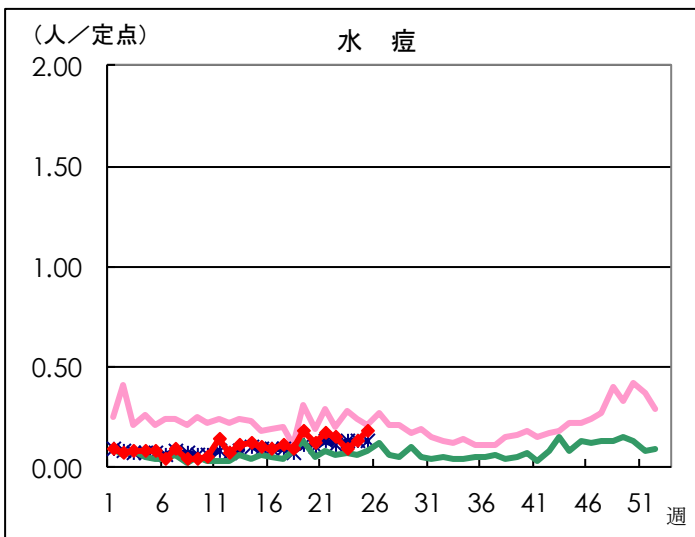
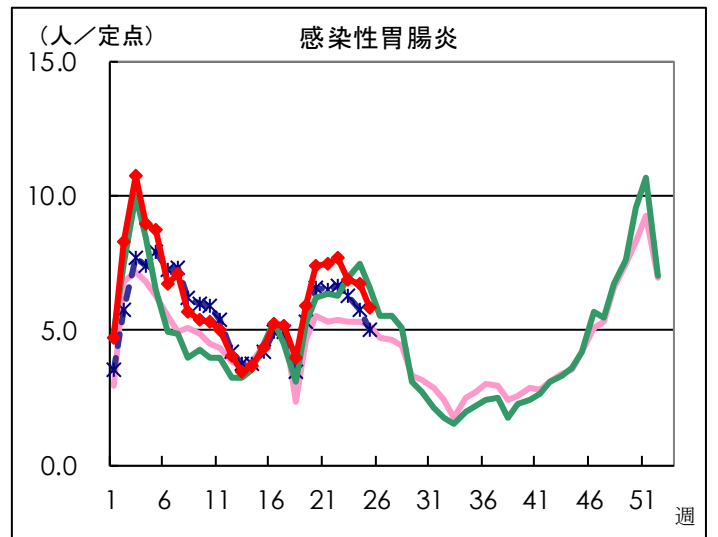
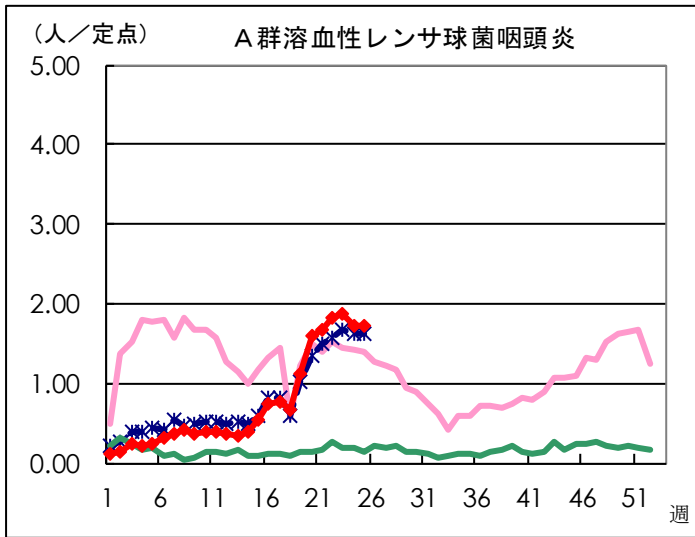
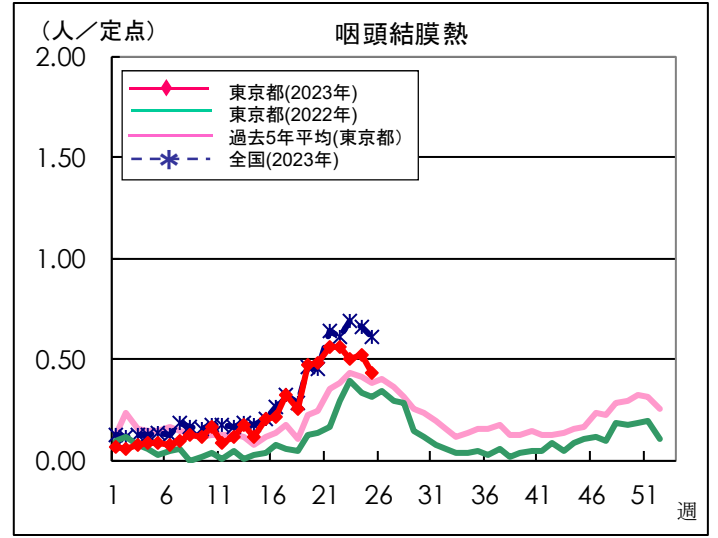
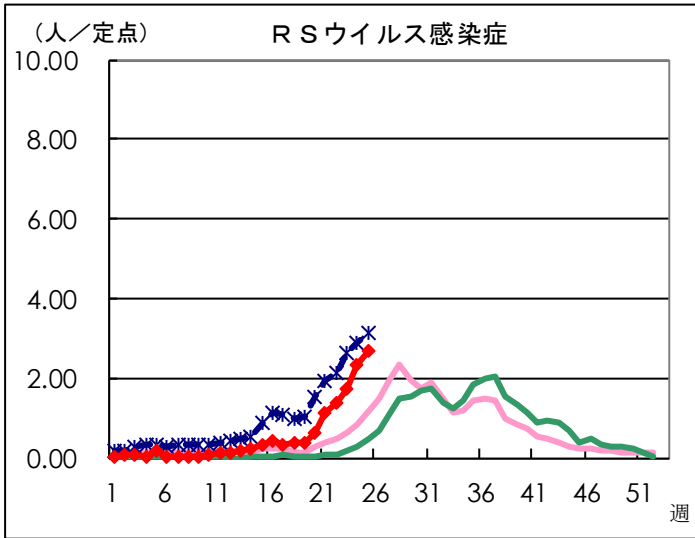
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2023年25週

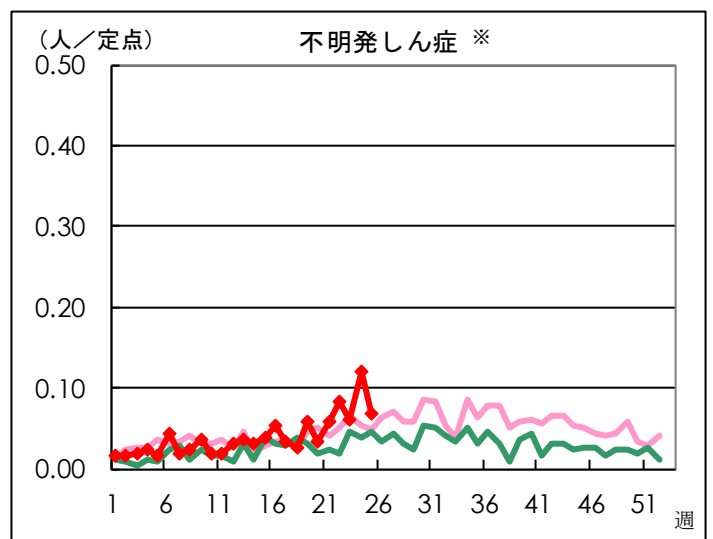
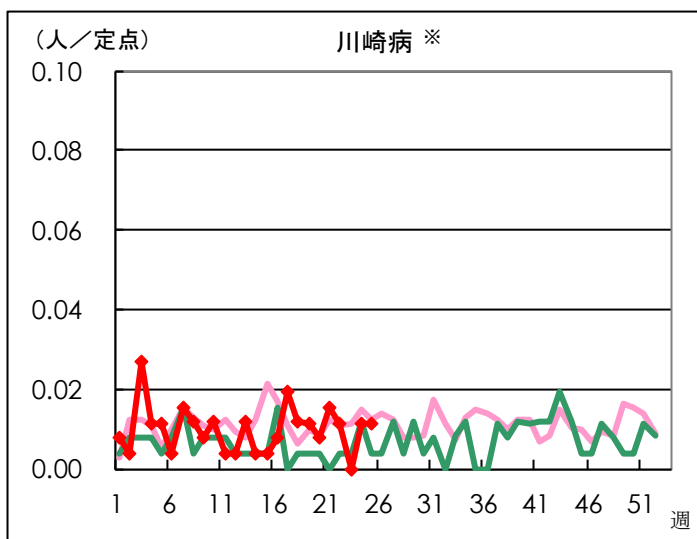
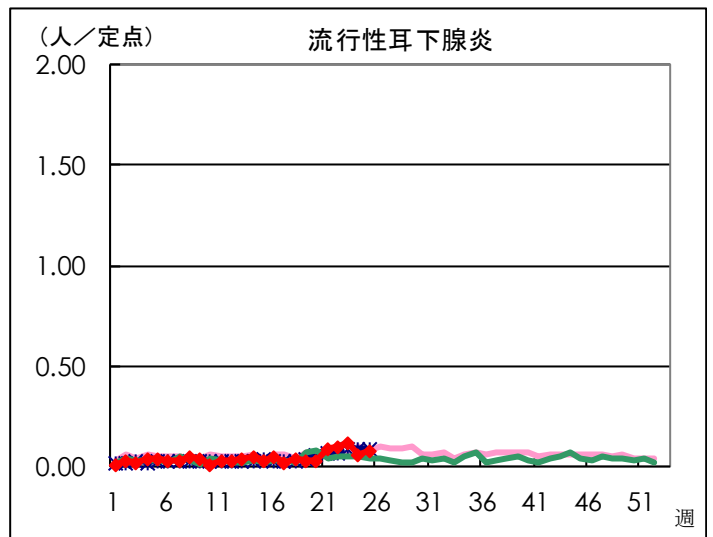
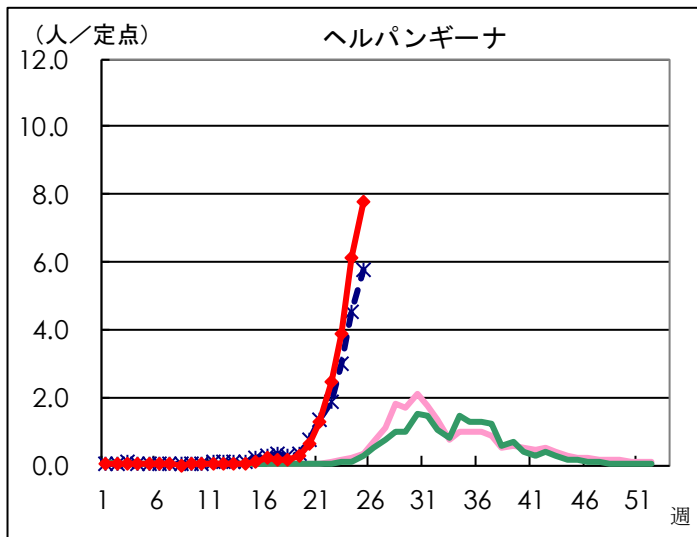
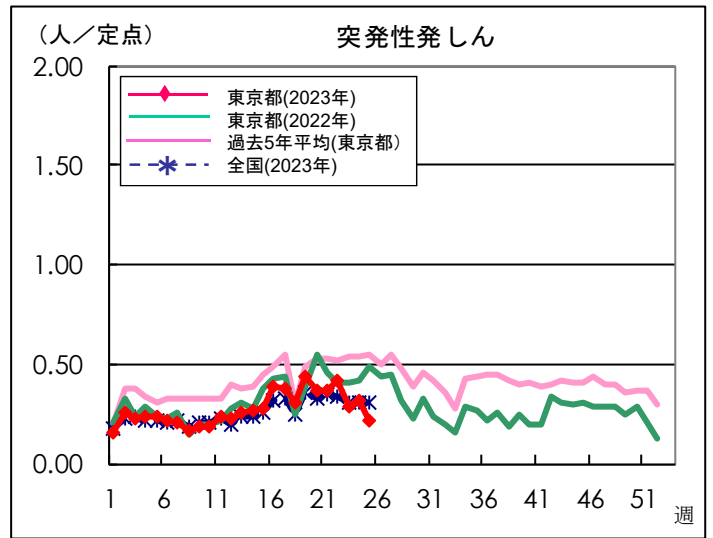
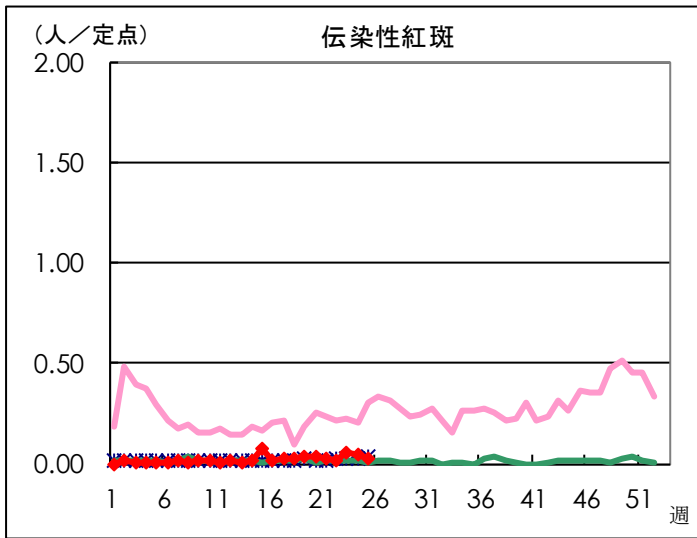
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	19	1	2	18	1	1			1		
中央区	1		2	23		3		2	5		
みなと	19	1	8	9	4	8		1	28		1
新宿区	22	5	10	39		1	1		22		
文京	7	7	3	13					28	1	
台東	17	1	5	39		2			39	1	
墨田区	11	1	1	14		2			16		
江東区	26		16	45		10		3	34	2	
品川区	6	2	10	32		2		2	56		
目黒区	5	1	5	15				3	34		
大田区	78	12	30	97	1	14	1	2	132	2	
世田谷	45	2	30	93	8	8		2	134	2	
渋谷区	7	4	2	20	2	2		1	12		
中野区	7		28	45	1	2			68		
杉並	17	1	17	44	2	1		4	28		1
池袋	13	3	2	13		2			9		
北区	12		8	37	4	11	2	1	76	1	
荒川区	43	3	12	24				2	49	1	
板橋区	14	3	19	33	5	9	1	1	28		
練馬区	33	4	17	67	3	1	1	2	144		
足立	39	13	5	60		12		2	74		
葛飾区	12	1	5	67	1	3		2	31		
江戸川	28	5	10	85		6		2	75		
八王子市	37	12	33	134	1	18		7	189	1	
町田市	4		13	57	2	6		1	95	1	
西多摩	2		5	19		1		1	40	2	
南多摩	20	9	14	37	1	8		1	66	2	
多摩立川	44		50	61	1	17		2	91	3	
多摩府中	63	12	42	129	4	20		9	195		
多摩小平	47	7	43	141	7	18		4	216	1	1
島しょ	2	1	2								
東京都合計	700	111	449	1,510	48	188	6	57	2,015	20	3

	インフルエンザ/COVID-19			眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	新型コロナウイル ス感染症 (COVID-19)	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		1	29								
中央区		17	26		1						
みなと		13	49								
新宿区	1	1	80								
文京		9	45								
台東	1	20	25								
墨田区	1	30	103								
江東区	1	11	70								
品川区		12	45								
目黒区		15	46								
大田区		36	124								
世田谷	1	32	167								2
渋谷区		1	34		1						
中野区		4	87								
杉並	1	6	112								
池袋		5	81								
北区	1	9	124								
荒川区		24	44								
板橋区	2	10	89								
練馬区	2	36	137		1						
足立		1	111								
葛飾区	1	20	45								
江戸川		11	132								
八王子市	1	11	103								
町田市	1	2	54								
西多摩		3	44								
南多摩		6	87								
多摩立川		6	119								
多摩府中	3	36	200		1						
多摩小平	1	24	129								
島しょ			36								
東京都合計	18	412	2,577		4						2

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2023年25週 現在)

## ◆ 小児科定点

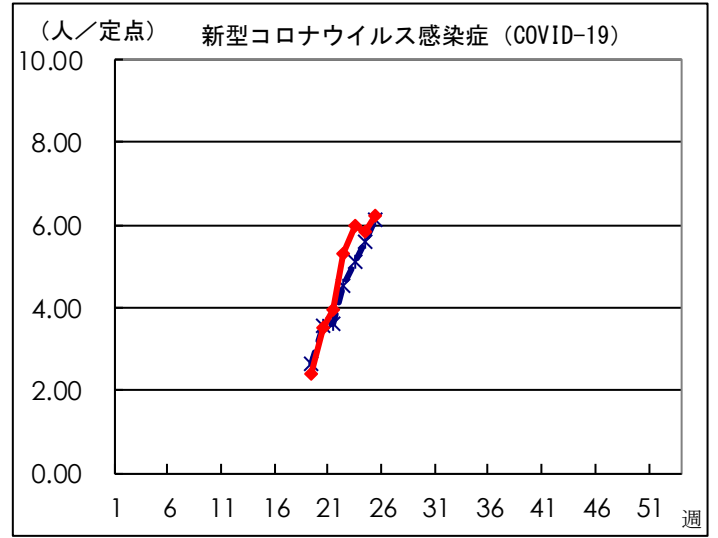
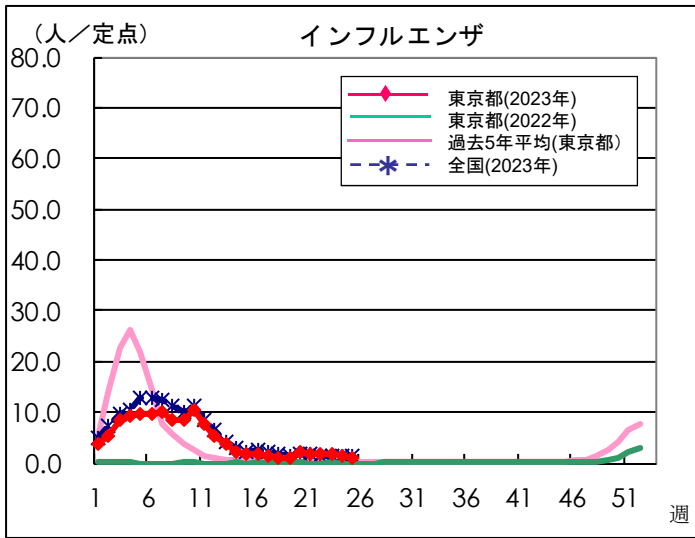




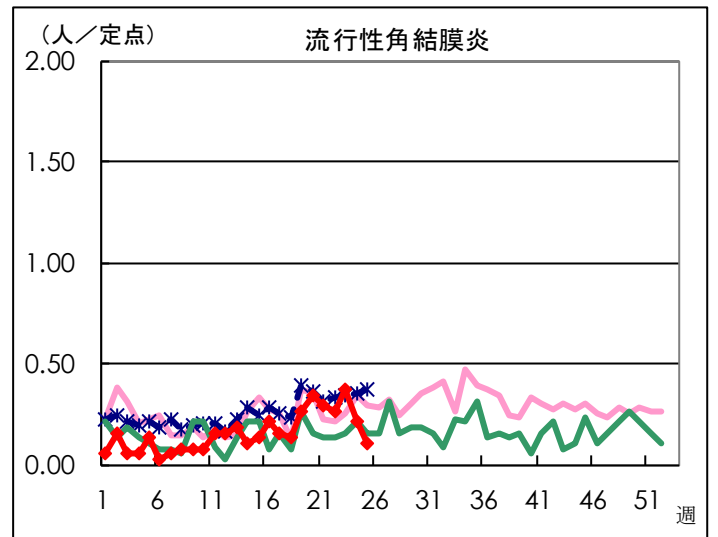
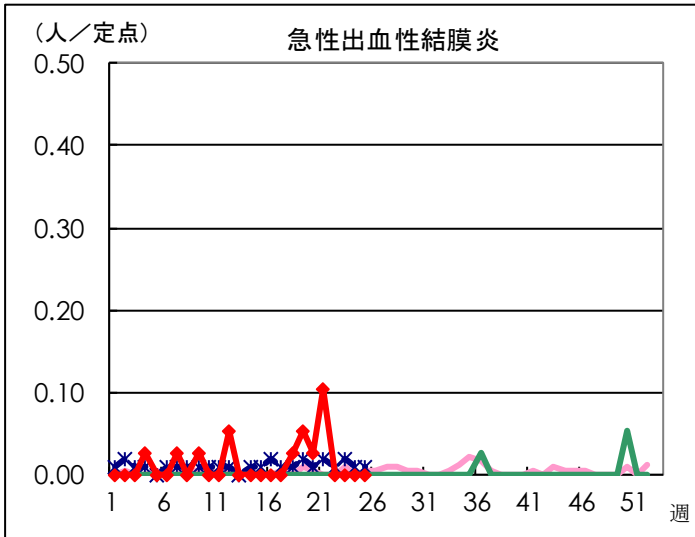
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

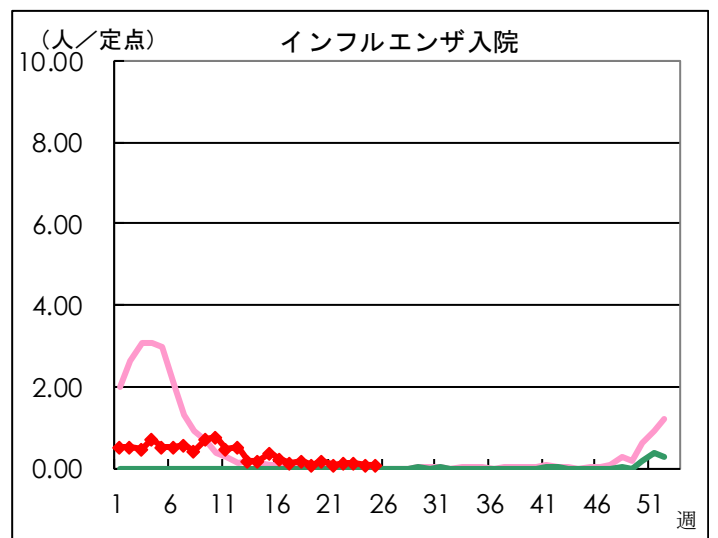
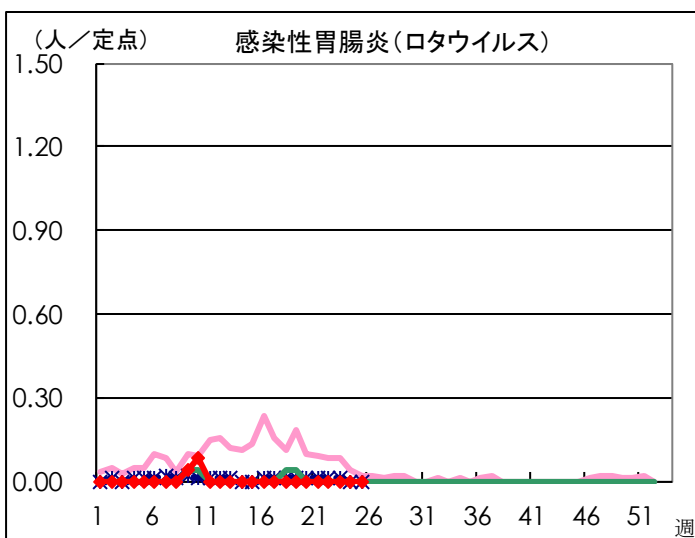
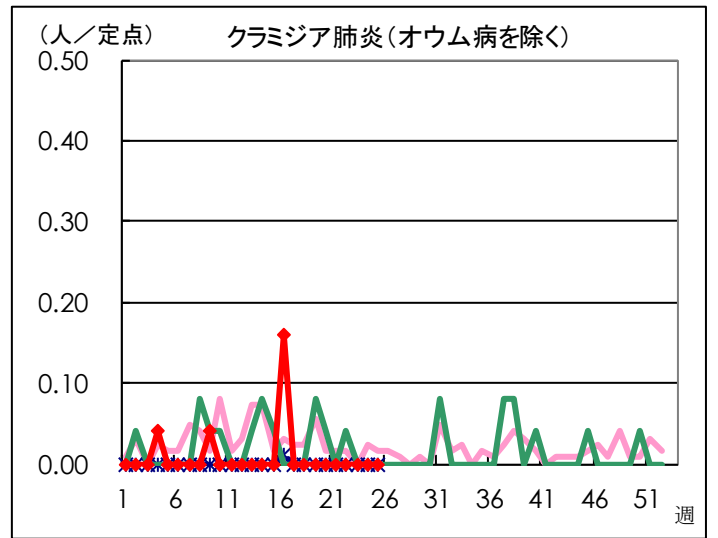
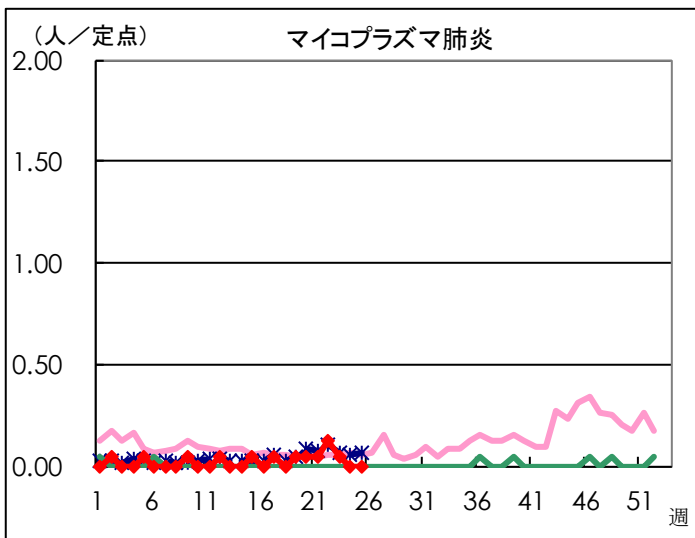
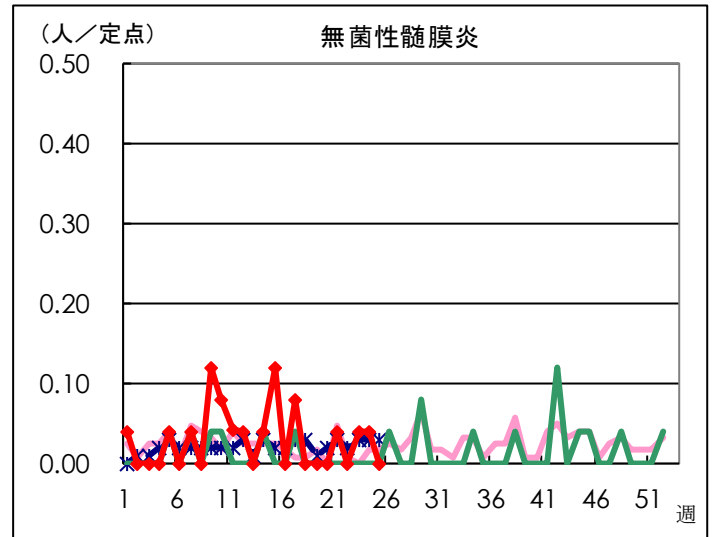
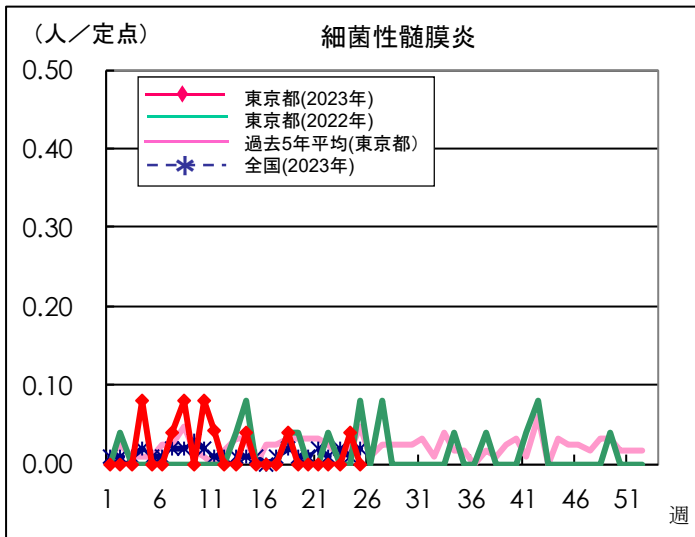
◆ インフルエンザ/COVID-19定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
6/5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
6/5	インフルエンザ様疾患	22	咽頭拭い液	SARS-CoV-2
6/5	感染性胃腸炎	9	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ.2
6/5	感染性胃腸炎	38	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ.2

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

23週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2023年23週				
2022-2023年 シーズン累計*	4	117	4	

\* 2022-2023年シーズンの開始は第36週(2022年9月5日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2023年							
	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週
アデノウイルス			1	1	1	1	3	
コクサッキーウイルスA群		3					2	
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス	2		2		2	3	1	
ヒトメタニューモウイルス							1	
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型						1		
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス	1							
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス					1	1	1	
ノロウイルス	1							2
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1			1				
インフルエンザウイルスAH3亜型	1	3		3	1	2	2	
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
SARS-CoV-2					2	3	1	1
その他のウイルス				1		1	1	
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1			1		2		
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型					1	1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型					2		1	1
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型							1	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2023年16週～2023年23週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
搬入検体数	2	8	11	7		1		4	7	3		4	14	13						1	
アデノウイルス		7																			
コクサッキーウイルスA群									4				1								
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス																					
ライノウイルス		4				1		1	1				1	1	1						
ヒトメタニューモウイルス															1						
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス																					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								1													
EBウイルス																					
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス										1											
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス	2														1						
ノロウイルス				3																	
ロタウイルス																					
サポウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1pdm09														2							
インフルエンザウイルスAH3亜型														11	1						
インフルエンザウイルスB型Victoria系統																					
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
SARS-CoV-2														1	6						
その他のウイルス				1											2						
A群溶血性レンサ球菌T-1型			4																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			4																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

## <感染症豆知識>

### 新型コロナウイルス感染症のパンデミックと外国出生者結核

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、世界中の人間の社会活動を一変させるインパクトがあった。人間に限らず感染性疾患もこのパンデミックで大きな影響を受け、インフルエンザは2020年度・2021年度シーズンは全く流行せず、2022年度は流行したが注意報レベルで収束した。これは世界中がマスク着用・手指消毒したこと、南北半球での冬季流行の連鎖が海外渡航停止で断たれたためだろう。

本邦の結核症もさまざまな影響が見られたが、その一つが外国出生者結核である。コロナ禍前は、本邦の20歳代の結核患者が急増し、その4分の3が結核高蔓延国出生者で占められていたので、結核入国前スクリーニングが2020年7月から始まる予定だった。しかし、新型コロナ流行によって留学生・技能実習生の来日が途絶えたため、この対策は延期されたままである。外国出生者の集まる日本語学校ではオンライン授業中心に変わって、多発していた結核集団感染も減少した。こうした影響もあって、20歳代の結核患者数は2019年の1,164人から2021年には930人に減り、外国出生者の割合増加も頭打ちになった。2021年に日本は罹患率9.2(人口10万対)となって、東アジアで初めて欧米と並ぶ低蔓延国(人口10万対10以下)入りを果たした。ただ、経済発展が目覚ましいシンガポールでも罹患率46、韓国49、中国59と中蔓延で、来日留学生の多いベトナムは176、インドネシア301、フィリピン539と高蔓延状態である。

コロナ禍の収束による海外渡航再開に伴って、結核入国前スクリーニング制度(出生国で胸部写真を撮って肺結核がないことを条件にビザ発行)が始まるので、その効果が期待される。

(文責 結核予防会複十字病院安全管理特任部長 尾形英雄)